

市民研究員養成講座 平成 30 年度の取り組み

若 宮 崇 令*

1 はじめに

市民研究員養成講座は博物館活動に有機的に関わってくれる市民を養成し、それらの市民によって支えられ高められる、市民と共に歩む地域博物館を目指して 2013～2015 年度を第 1 期、2016～2018 年度を第 2 期として開講してきた。1 期 3 年の区切りをつけて推進してきているので、今年度は第 2 期の最終年度になる。第 1 期は「植物」、「きのこ」、「陸水」、「野鳥」、「実験工作」を開講し、60 名が受講し 36 名に市民研究員認定証を授与した。第 2 期は「植物」、「きのこ」、「実験工作」は第 1 期より継続し、新たに「シダ」、「天文」を加え 5 グループで発足した。なお、古老から戦前、戦中を通じた地域の生活の様子を聞き取り、その記録を博物館に蓄積していくことは地域博物館としての大事な業務であるとの認識から、古老が少なくなる中で、できるだけ急がなくてはという意識のもと、第 2 期の途中であるが今年度「語り伝承」グループを発足させ、最終的には 6 グループ 81 名で活動した。今年度第 2 期を終了するに当たり、新たに 30 名の方に認定証を授与した。認定証は第 1 期では、何の専門分野の認定者かわからなかったもので、第 1 期認定者に改めて何の分野の認定者かわかる認定証を授与した。

2 第 2 期の受講者について

第 2 期養成講座の受講登録者は、中途退会を除き最終的に 79 名であった。男女比は男 46 名、女 33 名である。登録者の年齢は高校生以上で次の表のとおりである。

年代	10	20	30	40	50	60	70	80	不明
人数	2	2	5	9	10	26	20	3	2

2 名の高校生から 3 名の 80 代まで幅広がっているが、その中で 60 代、70 代が多くなっている。職業についても記載を求めたが無記入が多く、正確にはわからないが、男性ではリタイヤされた方、女性では子育てが終わった方が多いようである。参加された動機について聞き取ると、今までその分野について興味があったが学ぶ機会がなかったのを機会に学びたい、また、今までその分野について造詣を深めているので、これを機会に今までの経験を社会に役立てたいという人が多いようである。

3 養成講座について

養成講座の進め方は第 1 期を踏襲し、専門家に各グループの指導者になってもらい、その指導者のもと、毎月 1 回以上の活動を通して受講の市民に学習を深めていただくというものである。特に自然系の分野については、指導者の指導で現在の自然の調査をし、同定し、標本資料を作成し、博物館にデータと標本資料を蓄積するという実戦的な作業を通じて、自然感や同定力を養ってもらった。「実験工作」と「天

文」はそれぞれの勉強会と、市民対象の科学工作教室やプラネタリウムの投影解説、天体観望会等の実戦的な活動を通して、理論と実践に強い市民を養成し、その力を博物館で発揮してもらえるようにしている。「語り伝承」ではこれは残しておきたいものというものを、お互いに情報を収集し、それらを持ち寄って検討した。その後検討を加えた古老のところへ出かけて聞き取り調査をし、筆耕するという作業を通して地域の歴史や文化についての知識を深めている。結果を印刷物にし、博物館資料として残すと同時に、販売するなどして広く市民に知ってもらおうとしている。

各分野の指導者

グループ	指導者	所属	受講者数
植物	岩波 均 白鳥 保美 坂口 竣弥 武居 三男	諏訪教育会植物部会 諏訪教育会植物部会 植物研究家 植物研究家	22
きのこ	小山 明人	菌類懇話会	28
シダ	佐藤 利幸	信州大学名誉教授	11
天文	若宮 崇令 渡辺真由子	茅野市八ヶ岳総合博物館 茅野市八ヶ岳総合博物館	20
実験工作	木村 正弘	公立諏訪東京理科大学教授	11
語り伝承	飯田美智子	郷土文化研究家	6

各グループの受講者数の合計は受講登録者数 81 名を上回っているのは、2～3 のグループに重複参加している人もいるからである。

4 各グループの活動

本誌掲載の各グループの活動報告を見ていただきたい。

5 全体活動日数と活動延べ人数 (2018 年 12 月 28 日現在)

各グループの活動実績を活動日数と活動延べ人数で示す。成果内容については本誌掲載の各グループの報告を見ていただきたい。

<植物グループ>

年度	活動日数	活動内容	年間活動延べ人数
H28	15	小泉山の調査、採集、同定、標本作成、観察会等	133
H29	14		121
H30	11		106
合計	40		360

<きのこグループ>

年度	活動日数	活動内容	年間活動延べ人数
H28	15	吉田山、その他調査、採集、同定、標本作成、観察会、キノコ展示会等	176
H29	17		194
H30	13		173
合計	45		543

* 茅野市八ヶ岳総合博物館

<シダグループ>

年度	活動日数	活動内容	年間活動延べ人数
H28	9	周辺調査、採集、同定、標本作成、観察会等	52
H29	10		49
H30	16		55
合計	35		156

<天文グループ>

年度	活動日数	活動内容	年間活動延べ人数
H28	15	定例学習会、天体観望会、プラネタリウム番組制作、投影、解説公開	152
H29	23		194
H30	18		139
合計	56		485

<実験工作グループ>

年度	活動日数	活動内容	年間活動延べ人数
H28	28	定例学習会、子ども科学クラブ指導、ワクワク科学教室指導、サイエンスフェスタ出展、来館団体科学工作指導等	163
H29	30		167
H30	33		175
合計	91		505

<語り伝承グループ>

年度	活動日数	活動内容	年間活動延べ人数
H28		定例打合せ検討会、聞き取り調査、聞き取り内容執筆	
H29			
H30	16		48
合計	16		48

<全体>

年度	活動日数	活動内容	年間活動延べ人数
H28	84	各グループ、月1回以上の勉強会、調査等の活動	676
H29	95		725
H30	107		696
合計	286		2,097

6 市民研究員認定者

第2期の講座において次の基準を満たした人に認定証を授与した。なお、第1期で認定され、第2期も継続して参加された方には、認定証に何の分野の市民研究員かを明記した認定証を授与した。

- ① 1年間に8回以上を目安に3年間で24回以上出席し活動すること。
- ② 上の基準を満たし、指導者に推薦され、企画運営会議で承認を得ること。

認定者には、活動の推進役になってもらい、指導者の都合が悪いときにグループの自主活動のまとめ役を務めてもらう。また、博物館事業の講師依頼をすることがある。さらに、新たな活動分野開講の提案を博物館にいただき、開講時にはその推進役になってもらう。

市民研究員認定者

植物グループ

第1期認定者 で第2期継続	井村悦子 小山京子 大塚敏子 若宮稔美 上原裕雄 上原妙子 小林智子 宮坂節子 桑垣文子 北沢俊弘 野崎順子 矢島三喜子
第2期認定者	青木正美 大谷敏治 岩波博文

*きのこグループ

第1期認定者 で第2期継続	水沼昇 井村悦子 藤崎弘子 藤森政 明 市川浩久 牛山雄二 上原裕雄 上原 妙子 中島年雄
第2期認定者	齋藤雅光 齋藤智子 平林良典 清水千 代江 齋藤和春 荒野民雄

*実験工作グループ

第1期認定者 で第2期継続	吉江利彦 三井田陸郎 根橋良紀 両角健 両角美恵子 山田勝俊 小泉正幸 笠原修
第2期認定者	松本光夫 田名網理恵

*シダグループ

第1期認定者	—
第2期認定者	小山京子 若宮稔美 小林智子 林秀樹 野崎順子

*天文グループ

第1期認定者	—
第2期認定者	齋藤雅光 齋藤智子 吉江利彦 牛山好友 葉玉知子 両角英晴 朝倉昇 岩波和久 田村和巳 野崎順子 榎原圭司 榎原妙美 岩波佑奈 東城幹雄 藤澤弥聡 田名網修 大西拓一郎

*語り伝承グループ

第1期認定者	—
第2期認定者	

7 おわりに

市民研究員養成講座を通し、1年間に100日程度、毎年延べ人数にして600～700人、3年間で延べ2000人の市民が茅野市八ヶ岳総合博物館の地域博物館としての調査研究、資料収集保管、教育普及という博物館活動に関わってくれている。おかげで現在の自然の記録の一端が確実に博物館資料として蓄積されてきた。また、職員だけでは到底できない幅広い活動をしていただき、博物館の活性化が進んでいる。2019年度には第3期市民研究員養成講座が第2期の6グループに「コケグループ」を加え、7グループで開講する予定である。各自いろいろ取り巻く状況の変化もあり、継続できない人もいるので、第2期の閉講に伴い一応ピリオドを打ち、継続して参加していただける人に改めて登録し直していただき、新しい参加者を加えて4月から第3期を開講する。第1期から第2期に移行したときと同様、多くの市民研究員認定者が継続して参加してくれることを期待している。第3期ではそれぞれの分野で市民研究員として力をつけられた認定者を中心にしたレベルの高い活動と、できる範囲で分野を広げていく活動を通して、多くの市民に支えられ高められる、市民と共に歩む地域の総合博物館として、一層の発展を期待したい。